

園名

丸の内こども園

事例分類

早出・遅出が分担する業務改善

※前回のグループワークで指摘されたのは、2か所でした。

■サマリー：環境整備職員の方に感謝の気持ちを持つ＝存在承認は最大の成果

課題

・早出 … ①乳児ミルク用のポットのスイッチを入れるのは、そこでしないといけないのか。
・早出・遅出 … ②職員・子どものトイレの便座のスイッチを入れて消すのは、ずっとつけておくか、子ども用はお当番さんのお仕事にしてもよいのではないのか。

目標

・早出・遅出の業務は2名でするので、少しでも減らせるのであれば実施してみたいと考える。

成果

・①その時期の子どもさんの月齢にもよると思いますが、現在一時保育で4ヶ月の子どもさんをお預かりしているため、この時間しておくのがベストである。3月までは一時保育が続くが、その後は0歳児の月齢に合わせて随時検討していくこととする。
・②電気屋さんに、待機電力等のお尋ねをしましたが、待機電力等を考えても夜間全く使用しないので、朝入れて夕方切る方が良いと言われたため、従来通りとする。

課題の意図・詳細説明

・①朝早くから沸かさなくても、担任のうちの早い人が入れるのでも間に合うのではないのか。
・②スイッチを入れる時に電力を使うので、ずっと入れておいた方が効率が良いのではないのか。
もし、切る時には、年長のお当番さんのお仕事にすると、職員の作業が1つ減るのではないのか。

目標の意図

・今まで、当たり前のこととしてしてきた業務ではありますが、今回みなさんからのアドバイスをいただき、再考してみようとする。

具体的な取り組み 12月

「当園の職場環境」

当園は、環境整備職員の2名（66歳・69歳）が交互に出勤（7：30～14：30）していて、掃除・洗濯全搬してくれています。自分の担任の部屋掃除はしますが、他園と比べると掃除をする範囲がとても狭く、園庭・玄関・靴箱・ロッカー・ホール・子どもトイレ・園長室・会議室は全て環境整備職員がしてくれます。今回、他園の業務内容を見させていただき、掃除にかける時間が多いことに気づき、当園の環境整備職員がいてくれることの有難さを痛感しました。

具体的な取り組み 1月

具体的な取り組み 2月